

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果について

1 調査の概要

- (1) 調査の目的 児童生徒の学力・学習状況の把握と学習指導の改善を図る。
- (2) 調査対象 土岐市内全小学校8校の第6学年児童（470人）
土岐市内全中学校6校の第3学年生徒（414人）
- (3) 調査内容 学力に関する調査（国語，算数・数学，中学外国語），生活と学習に関する調査
※本調査で明らかにできるのは，児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部分
や学校における教育活動の一側面についてである。
- (4) 調査日 令和5年4月18日（火）

2 土岐市の現状

(1) 学力について

*全国の正答率と市の正答率の比較

(◎：上回る ○：ほぼ同じ □：下回る)

<小学校>

国語	○	話す・聞くこと	書くこと	読むこと	言葉の特徴や使い方に関する事項	我が国の言語文化に関する事項
		□	□	○	○	○
算数	□	数と計算	図形	変化と関係	データの活用	
		□	○	□	○	

- ・国語は，全国正答率とほぼ同じ。
「必要なことを質問しながら聞き，話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの内容を捉えることができるかどうかをみる」ことが全国正答率を上回っている。一方，「図表やグラフを用いて，自分の考えが伝わるように書き表す」ことや「文章を読んで理解したことに基づいて，自分の考えをまとめる」ことに課題がある。
- ・算数は，全国正答率を下回っている。
「() を用いた式や加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取る」ことや「比例関係にあることを用いて，知りたい数量の大きさの求め方を式や言葉を用いて記述する」ことに課題がある。

<中学校>

国語	○	話す・聞くこと	書くこと	読むこと	言葉の使い方に関する事項	情報の扱い方に関する事項	我が国の言語文化に関する事項
		□	□	◎	○	○	○
数学	○	数と式	図形	関数		データの活用	
		○	○	○		◎	
英語	○	聞くこと	読むこと	書くこと			
		○	○	○			

- ・国語は，全国正答率とほぼ同じ。
「文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付け，自分の考えを広げたり深めたりする」ことや「文脈に即して漢字を正しく書く」ことが全国正答率を上回っている。一方，「読み手の立場に立って，叙述の仕方などを確かめて，文章を整えることができるかどうかをみる」ことに課題がある。
- ・数学は，全国正答率とほぼ同じ。
「数と整式の乗法の計算ができるかどうかをみる」や「複数のデータ分布の傾向を比較して捉え，判断の理由を数学的な表現を用いて説明する」ことが全国正答率を上回っている。一方，「自然数の意味を理解しているかどうかをみる」ことに課題がある。

- ・英語は、全国正答率とほぼ同じ。
「社会的な話題について、短い文章の要点を捉えることができるかどうかをみる」ことが、全国正答率を上回っている。一方、「日常的な話題について、目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取る」ことや日常的な話題について、短い文章の概要を捉える」ことに課題がある。

(2) 学習に関する意識について〈質問紙調査の結果〉

<表の見方>

* 「当てはまる」「どちらかという当てはまる」と回答した全国の児童生徒数の割合と、市の児童生徒数の割合の比較 ◎：上回る ○：ほぼ同じ □：下回る

■挑戦心、達成感、自己有用感に関する質問

質問番号 (小) (中)	質問事項	小学校	中学校
4 4	自分にはよいところがあると思いますか。	◎	◎
6 6	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて分かるまで教えてくれていると思いますか。	◎	◎
10 10	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。	◎	◎
11 11	人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	◎	◎

■学習習慣、学習環境等に関する質問

質問番号 (小) (中)	質問事項	小学校	中学校
16 16	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。 (学校の授業の予習や復習を含む)	□	◎
17 17	学校の授業時間以外に普段1日当たりどれぐらいの時間勉強をしますか。 (小：1時間以上2時間未満 中：2時間以上3時間未満)	◎	◎
18 18	土曜日や日曜日など学校の休みの日に、1日当たりどれぐらいの時間勉強をしますか。(小：1時間以上2時間未満 中：2時間以上3時間未満)	○	◎
24 26	読書は好きですか。	◎	○

■地域や社会に関わる活動の状況等に関する質問

質問番号 (小) (中)	質問事項	小学校	中学校
25 29	今住んでいる地域の行事に参加していますか。	◎	◎
26 30	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。	◎	◎

■ICT を活用した学習状況，主体的・対話的で深い学びの視点からの授業に関する質問

質問番号 (小) (中)	質問事項	小学校	中学校
30 34	学習の中で、PC タブレットなどの ICT 機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか。	◎	◎
32 36	考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか。	◎	◎
33 37	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。	○	◎
34 38	各教科で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか。	□	◎
36 40	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。	□	◎
37 41	学習した内容について、分かった点や、よく分からない点を見直し、次の学習につなげることができていますか。	□	◎

■総合的な学習の時間，学級活動，特別の教科道徳

質問番号 (小) (中)	質問事項	小学校	中学校
40 44	学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。	◎	◎
41 45	学級活動における話し合いを生かして、今自分が努力すべきとこと決めて取り組んでいますか。	◎	◎
42 46	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。	□	◎

質問紙調査の結果考察

■挑戦心，達成感，自己有用感に関する質問

小中学校共に「自分にはよいところがある」と回答した児童生徒数の割合が、全国の児童生徒数の割合を上回り、自己肯定感の高い子が全国よりも多いと考えられる。

■学習習慣，学習環境等に関する質問

家庭学習では、小中学校共に ICT 機器を用いることへの有用性について、「役に立つ」と回答した児童生徒数の割合が全国の児童生徒数の割合を上回り、家庭学習においても ICT を積極的に活用している傾向が見られた。また、「自分で計画を立てて勉強をしている」という質問では、中学校では「している」と回答した生徒数の割合が、全国の生徒数の割合を上回る結果となった。一方、小学校では、「自分で計画を立てて勉強をしている」の質問について「している」と回答した児童数の割合が、全国の児童数の割合をやや下回る結果となった。小学校では、自ら学習課題を見つけ、それを克服するための方法や期間を設定して勉強するなど、子どもたちに具体的な学習方法を教えていくことが大切である。

■地域や社会に関わる活動の状況等に関する質問

小中学校共に「今住んでいる地域の行事に参加していますか」「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」の質問に対し、肯定的に解答した児童生徒数の割合が、全国の児童生徒数の割合を上回る結果となった。地域の行事に積極的に参加し、地域を愛する心が育ってきていると考えられる。

■ICT を活用した学習状況，主体的・対話的で深い学びの視点からの授業に関する質問

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する質問項目において、中学校では、いずれの質問においても肯定的に回答している生徒数の割合が、全国の生徒数の割合を上回る結果となった。小学校では、「自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している」

と回答した児童数の割合が全国の児童数の割合を上回る結果となった。一方、「自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した児童数の割合が、全国の児童数の割合をやや下回る結果となった。このことから、自分の考えを分かりやすく伝える表現活動を大切にしながら、主体的・対話的で深い学びにつながるよう、目的を意識して仲間の考えを聞き、自分の考えを吟味していく力を高めることが大切であると考えられる。

■総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科道徳

小中学校共に「学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めているか」「学級活動における話し合いを生かして、今自分が努力すべきことを決めて取り組んでいるか」の質問に対して、肯定的に回答した児童生徒数の割合が、全国の児童生徒数の割合を上回る結果となった。

小中学校共に集団の一員として、主体的に学級に関わろうとする姿勢が高まっていると考えられる。

3 今後に向けて

土岐市の学力をさらに高めるための方策

○授業について以下のような活動を位置づける。

個別最適な学び

・問題解決のための着眼点を示したり、学習形態を工夫したりして、自分の考えがしっかりともてる活動。

協働的な学び

・体験・事実・情報の分析・仮説の検証などを根拠に、考えを広げ合ったり、深めたりする対話的な活動。
・意図的に自分の考えを書いたり、まとめたりする活動。

○家庭学習について

・個に応じた家庭学習の方法の提案や、内容について、家庭と情報を共有する。
・ICTを活用し、家庭学習のさらなる充実を図る。
・読書活動を推進する。